

公益財団法人ふくい産業支援センター ホームページ改修業務
調達仕様書

令和5年11月

公益財団法人ふくい産業支援センター

ふくい産業支援センターホームページ改修業務調達仕様書

第1章 全体概要

1. 業務名

ふくい産業支援センターホームページ改修業務

2. 改修の概要

目的	ふくい産業支援センターでは、創業から経営革新、IT活用、販路開拓、資金支援、人材育成、産学官連携、デザイン支援など幅広い経営課題に対し、4拠点7部署がそれぞれ専門性の高い支援を行っている。こうした各部署の事業を組み合わせ、個々の企業のニーズに合ったOne to Oneの支援を行う「総合コンサルティング機関」であるという特徴を、より強く打ち出し、当支援センターの利用を促すホームページにリニューアルする。
対象	県内企業の経営者、従業員等を想定しているが、特に以下の方への対応を強化したい。 ○ 特定の経営課題の解決を図るために、検索エンジン等を経由して当支援センターの特定の事業ページにアクセスしてきた方（新規層） ○ 既に補助金などを活用したことがある方で、知ってさえもらえれば他の事業を利用していただけると思われる方（既存層の横展開）
強化したいポイント	1. 強みである「総合支援力」を伝えるために、トップページに誘導し、幅広い支援メニューを知っていただき、他の支援事業ページも見てもらおう仕掛けを作る。 2. 必要な情報に的確にたどり着けるよう、関連する支援事業をお勧め表示したり、検索やパーソナライズ等に工夫を施す。 3. 職員全員が自らの事業に関する投稿を、簡単に、使いやすくできるようにする。 ※コードに深い知識がなくても表や図のレイアウトができるなどより使いやすくする。
その他留意事項	○ 現在のfiscホームページ (https://www.fisc.jp/) をベースにリニューアルする。 ○ 原則として現ホームページが有するメニュー、表示されているデータは全て移行する。ただし、令和4年3月以前の新着情報は移行しない。 ○ 別添「対象外サイト一覧」に記載の以下の事業サイトについては改修の範囲には含まない。 (・福井県産業情報センター ・施設予約状況確認 ・産業情報センター嶺南支所 ・IT研修 ・ふくいDXオープンラボ ・ITエンジニア養成スクール ・ふくいベンチャー創出プロジェクト ・バイヤーのための福食市 ・福井県よろず支援拠点 ・KUMANDO WEEK ・福井県中小企業産業大学校 ・福井ものづくりキャンパス ・デザイナーバンク) ○ 現状はWordPressにて構築しているが、これにこだわらず提案を求める。 但し、WordPressもしくは同様の脆弱性を有するCSMを使用する場合は、必要に応じたセキュリティ上の対策も併せて提案すること ※ ベンチマークサイト：石川県産業創出支援機構（ISICO） (https://www.isico.or.jp/)

3. 業務の範囲

①サイト企画

センター職員と協議の上、目的を達成するために最適なサイト構成、デザインコンセプトを作成する。

②CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）

テンプレートを用いて、センター職員が容易に情報を登録・修正・削除できるシステムを構築する。

③ホームページの制作

前項「2. 改修の概要」に基づく新たなトップページの制作、コンテンツの追加および現在のページの改修を行う。また、検索やパーソナライズなど必要な機能の追加を行う。

④既存データの移行

バックナンバーを含む情報誌F-ACTの記事や改修により生じる既存データの移行を行う。

⑤更新作業等のマニュアル作成

個々の職員が自由にデータ更新等ができるよう、マニュアルを作成する。

4. 履行期限

令和6年3月22日（金）17時

5. 履行場所

公益財団法人ふくい産業支援センター One to Oneサービス推進部
（坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16 福井県産業情報センター3階）

6. 全体スケジュール

令和5年11月29日	選定会（プロポーザル）
12月上旬～	契約、打合せ 新ホームページへの入れ替え作業 既存データの移行 テスト
令和6年3月22日	本番切替
3月29日	検収

7. 成果品等

成果品として納入するものは以下のとおりとする。

成果品	部数
ホームページ運用プログラム、運用に係るコンテンツ	1式
基本・詳細設計書	1部
テスト結果報告書	1部
業務完了報告書	1部
操作マニュアル（管理者および利用者向け）	1部

8. 検収方法

完成検査

- ・新ホームページ公開後、産業支援センター担当職員の検査をもって検収とする。
- ・完成検査において指摘があった場合には、担当職員の指示に従い、必要となる処置を施すこと

第2章 システム要件

1. ホームページの機能要件

現状のホームページをベースとして、以下の機能の追加・修正・削除を行う。

トップページのデザインは時流に合わせたものに変更する。その他のページは特にデザイン変更を必須としないが、リニューアルの目的や重点ポイントに合ったメニュー構成や見せ方等の提案を希望する。

改修点

トップページ	全ページ共通のグローバルナビゲーションを設置する。「お問い合わせはこちら」を強調したデザインとし、クリックして「お問い合わせ先ページ」（新設）を開く仕様とする。 トピック掲載用の左右に動くスライダーに加え、広告掲載用の上下に動くスライダーを新設するなど、広告主側の掲載効果向上と、当センターが伝えたいトピック情報等のバランスに留意した広告掲載機能に変更する。 スライダーや新着情報など特に伝えたい情報が最初の画面で表示されるよう、配置や表示サイズに配慮したレイアウトとする。
新着情報	情報を「イベント」、「公募情報」、「お知らせ」のタブに分けて表示する形式とする。 イベント：講演会、セミナー等開催イベントの情報 公募情報：補助金、施策情報など随時更新する情報 お知らせ：各種連絡、F-ACT等発行物の発刊情報、プレスリリース情報等 ※イベント開催日や募集期間での並び替え、表示・非表示の切替機能が可能であれば併せて提案すること。 1ページに表示される情報の件数は5件程度とする。（アイキャッチ使用にはこだわらない）
お問い合わせ先ページ	各部署毎に問い合わせができる「問合せフォーム」、電話番号（①経営相談②代表③各部署お問い合わせ案内）等掲載したお問い合わせ先ページを新設する。
アクセス	グーグルマップとリンクしたアクセス紹介ページとする。
カテゴリー	カテゴリー（「補助金」「専門家相談」等）メニューは、画面をスクロールしても左端などに表示されるなど、他のカテゴリーに速やかに移動できる機能を設ける。 カレンダー機能は削除する。
センター活用事例	活用事例のクリックが増えるよう、トップページ等で目につくように配置する。ページ修正・新設は必ずしも求めない。なお、F-ACT掲載企業や各事業の事例等を原稿として、年間100件程度の事例掲載の委託を検討するために必要なランニング経費を、併せて提案すること
その他	総合パンフレットや広く配布する発行物をわかりやすい場所に配置すること

機能の追加

- (1) 改修の目的に記載した「**各部署の事業を組み合わせ、個々の企業のニーズに合ったOne to Oneの支援を行う『総合コンサルティング機関』であるという特徴**」をより強く打ち出すための機能の追加。

以下の機能に該当する提案を求める。

- ① ユーザーの過去のページ参照履歴にもとづき、お勧め情報を表示するなどパーソナライズの機能
- ② AIを活用したサイト内検索など、利用者のニーズに合ったページにスムーズに案内する機能
- ③ その他、改修の目的に合った機能

- (2) 電子ブック機能の導入（情報誌F-ACTや報告書の紹介ページでの活用を想定）

2. CMSの基本要件

基本要件

- (1) 現状の CMS はWordPressだが、これにこだわるものではない。
なお、サーバ管理の関係上、CMS は所外から操作不可
- (2) テキスト文字の編集、装飾について
コピー、切り取り、ペースト、元に戻す、文字色設定、文字背景色設定、太字、斜体、アンダーライン、
打消し線、添え字、上付、右揃え、左揃え、中央揃え、インデント、段落番号（番号付一覧等）、
リンク（別ウインドウ指定）設定、表組等の機能が使えること
- (3) 画像の登録にあたっては、画像サイズの指定ができること
- (4) 文章に関連した Google Map が表示できること
- (5) P D F ファイル、マイクロソフト Word、Excel ファイルの添付ができること
- (6) 各ページの公開開始、公開終了の期限の設定およびプレビューによる確認ができること
- (7) コンテンツの追加・変更・削除を行えること
- (8) Google Analytics との連携が行えること
- (9) 更新したお知らせはパソコンサイト、スマートフォンサイトへ自動で内容を反映させること

管理者機能

以下のとおり、アクセス解析機能を設けること

- ・年ごと、月ごとおよび日ごとにアクセス解析できる機能をつけること
- ・閲覧者のアクセス情報は、期間指定による月別、日別、曜日別、時間帯別等で、閲覧時間、閲覧ページ、
検索文、検索用語などのログ解析ができるとともに、レポートが C S V 出力できるよう構築すること

改修点

職員が誰でも簡単に、写真や表などを使ったレイアウトを施した各事業に関する投稿ができるようにしたい。

投稿者のレイアウトの自由度を高めるために、次のいずれかの方法での提案を求める。

- ①表や段組みが簡単にできるCMSもしくはプラグインの導入（および数点の見本ページ作成）
- ②想定されるページレイアウトの作成に使用できるテンプレートの作成
- ③想定されるページレイアウトの参考として使用できるサンプルページの作成

なお、具体的に作成したいページレイアウトとは以下のとおり。

ページ概要	備考
表（縦2列×横5行）を含むページ	現状の事業ページもしくは新着ページの内容を基に、特に表について、使用が想定されるパターンを簡単に作成できるよう、テンプレートもしくは見本ページを作成する。 ※サンプルページの場合は、必要な部分を簡単に複写して使用できるようにする。
表（縦3列×横5行）を含むページ	
表（縦4列×横5行）を含むページ	
表（縦6列×横7行）を含むページ	
※いずれも表の内部にさらに縦4列×横2行の表を挿入する場合がある。	
専門家等の顔写真とプロフィールを並べて掲載するページ	横に3人並ぶレイアウトとし、人数が異なる場合でも簡単に修正できるものとする。
F-ACT専用ページ	最新版ページとバックナンバーを別ページで設ける。 令和7年度から電子版のみの発行となることを想定し、以下の全形式に対応するページとする。 ①冊子版PDF形式 ②電子ブック形式 ③テキスト形式（写真等簡単なレイアウト含む）

上記のほか、以下に列挙した現システムの不満点について、修正できるものがあれば提案の中に記載すること

- ・スライダーの入れ替えを各担当が自由にできるようにしたい。
- ・複数のカテゴリーに該当する事業について、複数カテゴリーを指定できるようにしたい。
(現状は単一のカテゴリーにしか登録不可)
- ・投稿した写真等が保管されるメディアライブラリについて、登録順で並ぶだけなので管理しづらい。
- ・メディアライブラリ等に投稿した写真等のファイル名を半角英数のみで制御することができないか。
- ・プレビュー画面と実際の公開画面が違うので正確な事前確認ができない。
- ・情報登録の際にスマホでの表示も公開前に確認したい。
- ・投稿時に必ず記載する担当部署などは、ボタン等で選択できるようにできないか。
- ・申込や問い合わせフォームを、事業に合わせて変更できないか。

3. データ移行に関する要件

原則として現在ホームページで掲載しているデータはすべて新ホームページに移行する。ただし、以下のブログ記事については変換等の作業は行わない。

www.fisc.jp/weblog-ugf アップグレードふくい担当者ブログ
www.fisc.jp/weblog-e-fukui IT研修&セミナー
www.fisc.jp/weblog-kumando 熊堂ヒルズ通信
www.fisc.jp/weblog-reinan 嶺南支所日記
www.fisc.jp/design-training デザイン研修
www.fisc.jp/ugf-lecturer アップグレードふくい講師紹介
www.fisc.jp/adviser 登録専門家情報

4. ウェブブラウザの対応要件

以下に掲げる要件をすべて満たすこと。

- ①閲覧・利用者の端末機種やソフトウェアの汎用性を考慮し、ウェブブラウザは以下のものに対応すること。
 - ・Google Chrome、Mozilla Firefox、Safari、Microsoft Edge 制作時点で最新のもの
- ②スマートフォンやタブレット端末で用いることのできないインターフェースは使用しないこと。
デザインについても、パソコン、スマートフォン、タブレット、いずれの端末で閲覧して違和感のないものとする。

5. セキュリティ要件

ページの改ざんを未然に防止するため、情報処理推進機構（IPA）が策定した「ウェブアプリケーションのセキュリティ実装 チェックリスト」を満たすものであること。

6. その他

本仕様書に記載のない事項は、センター職員と協議のうえ対応を決定する。

以 上